

宮城県感染症発生動向調査情報

平成28年11月4日発行

— 2016.10.24～2016.10.30—第43週—

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							患者数	宮城県(含む仙台市)				
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第40週	第41週	第42週
水痘		1 0.10	2 0.40	8 4.00	2 0.67	5 1.00	1 0.50	5 0.19	24 1.170				
流行性耳下腺炎	1 0.20	1 0.10			2 0.67		10 5.00	2 0.07	16 0.27	882			
百日咳	1 0.2							1 0.04	2 0.03	23			
感染性胃腸炎	37 7.40	18 1.80	34 6.80	8 4.00	10 3.33	21 4.20		119 4.41	247 4.19	12,966	◎	◎	◎
手足口病	24 4.80	10 1.00	7 1.40	2 1.00		3 0.60	1 0.50	43 1.59	90 1.53	2,129	◎	◎	◎
伝染性紅斑		1 0.10			1 0.33				2 0.03	329			
突発性発しん	2 0.40	3 0.30	1 0.20		3 1.00			17 0.63	26 0.44	1,390	○	○	レ
ヘルパンギーナ	4 0.80	3 0.30	8 1.60	1 0.50	2 0.67	4 0.80		19 0.70	41 0.69	3,793	◎	◎	○
インフルエンザ	6 0.75					2 0.25		9 0.20	17 0.18	28,112			
咽頭結膜熱					1 0.33			7 0.26	8 0.14	686			
流行性角結膜炎		1 0.33						1 0.17	2 0.17	107			
急性出血性結膜炎									0 0.00	0			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22 4.40	29 2.90		2 1.00	2 0.67	58 11.60	1 0.50	32 1.19	146 2.47	8,184	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	1 1.00								1 0.08	12			
無菌性髄膜炎									0 0.00	6			
マイコプラズマ肺炎	2 2.00		1 1.00	1 1.00	1 1.00	2 2.00	2 2.00	10 2.00	19 1.58	386	○	レ	
クラミア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0			
RSウイルス感染症	21 4.20	19 1.90	11 2.20	2 1.00	9 3.00	13 2.60		66 2.44	141 2.39	1,822	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	14			
拡張疾病	24	7	2		1	1	2	21	◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向				
川崎病			1		1			1					
不明発疹症													

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

塩釜管内 男性1名

仙台管内 女性2名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

栗原管内 男性1名

登米管内 男児1名^{*}、女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O91)

仙台管内 女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O26)

大崎管内 男児1名^{*}

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O不明)

栗原管内 女性1名

仙台管内 女性1名

4類感染症: レジオネラ症

石巻管内 男性2名

5類感染症: アメーバ赤痢

仙台管内 男性1名(第42週)、男性1名

後天性免疫不全症候群

仙台管内 男性1名

侵襲性インフルエンザ菌感染症

仙台管内 男性1名

侵襲性肺炎球菌感染症

仙台管内 男性1名

^{*}男児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[手足口病] 仙南管内で警報継続中

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎] 石巻管内で警報継続中

[水痘] 栗原管内で注意報値を超えた

[流行性耳下腺炎] 気仙沼管内で注意報値を超えた

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎集団発生事例より

塩釜管内 第43週採取分 ノロウイルスGⅡ群 3件

大崎管内 第43週採取分 ノロウイルスGⅡ群 3件

石巻管内 第43週採取分 ノロウイルスGⅡ群 4件

腸管出血性大腸菌感染症患者より

登米管内のO157関連 第43週採取分 O157 1件

大崎管内のO26関連 第43週採取分 O26 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第40週採取分 (10.3～10.9)	第41週採取分 (10.10～10.16)	第42週採取分 (10.17～10.23)
RSウイルス	2件	9件	2件
ムンプスウイルス	0件	1件	0件
アデノウイルス	0件	0件	1件
エンテロウイルス	2件	2件	0件
ライノウイルス	3件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス1型	1件	2件	0件
パラインフルエンザウイルス2型	3件	0件	3件
パラインフルエンザウイルス4型	3件	1件	0件

※RSウイルスの分離が増加しています。

4. 今週のコメント

【腸管出血性大腸菌感染症】

ペロ毒素と呼ばれる毒素を持つ大腸菌によって引き起こされる感染症です。通常は腹痛、下痢、血便などの症状を引き起こしますが、小児や高齢者など抵抗力の落ちている人では、重症化して命にかかわることもあります。

県内では今週7例の報告があり、依然として患者の発生が続いていることから、今後も注意が必要です。

加熱不十分な食肉や、ヒトヒト間の感染が多くみられますので、食肉の調理の際には中心部まで十分加熱することや手洗いの励行などの一般的な予防対策を励行するよう心がけましょう。

宮城県定点週報告対象疾病の推移

